

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：第3次産業活動指数(3月)

発表日：5月24日(火)

～ 1-3月期の高成長は再確認されたが..... ～

(No. J-23)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 副主任エコノミスト 新家 義貴

(単位%)

		第3次産業活動指数		電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	サービス業
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
03	1-3月	0.7	0.6	0.5	0.4	0.0	0.7	0.5	0.3	0.3	1.6	1.2
	4-6月	0.1	0.8	1.2	2.3	1.4	0.0	1.3	1.2	1.6	0.5	0.2
	7-9月	0.1	0.1	3.2	1.7	0.9	1.0	2.5	0.2	0.1	1.0	0.4
	10-12月	1.0	1.8	1.9	3.5	0.3	1.2	0.8	0.2	1.9	0.6	0.5
04	1-3月	0.0	2.4	1.8	3.0	0.5	0.1	1.0	0.2	0.6	1.0	0.2
	4-6月	1.6	2.5	1.6	3.3	0.7	0.5	2.4	1.6	0.5	0.7	3.0
	7-9月	0.2	2.5	0.2	3.4	0.5	0.1	1.9	0.1	0.8	0.9	0.8
	10-12月	0.6	2.0	2.4	3.7	0.1	0.1	0.6	0.6	0.1	0.2	1.5
05	1-3月	1.4	2.2	4.2	1.9	0.6	1.6	1.9	0.3	3.0	0.8	2.3
03	1月	1.4	0.7	0.7	0.6	0.3	2.5	0.0	1.2	0.1	1.3	1.0
	2月	0.1	0.9	1.1	1.5	0.1	0.3	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4
	3月	0.2	0.2	2.1	2.5	0.2	0.6	1.2	0.4	1.0	0.1	0.7
	4月	0.0	0.3	1.1	2.4	1.5	0.1	0.5	0.8	3.1	0.3	0.5
	5月	0.4	0.6	1.5	1.0	0.5	1.0	0.9	1.1	1.5	1.5	0.3
	6月	0.1	1.6	0.2	5.3	0.0	0.6	2.2	1.1	0.2	0.9	0.4
	7月	1.4	1.3	9.1	7.3	0.6	1.6	0.1	0.3	1.0	1.2	0.0
	8月	1.5	0.1	7.8	3.5	0.1	1.2	0.4	1.6	0.8	0.7	0.8
	9月	0.8	1.7	5.5	1.7	0.1	0.0	1.5	0.6	2.6	0.9	0.3
	10月	0.8	2.5	3.8	0.4	1.3	3.0	0.6	1.1	0.1	0.6	0.0
	11月	1.2	0.5	0.6	0.3	2.0	3.6	0.7	1.0	0.4	0.5	0.2
	12月	0.0	2.4	0.4	2.1	0.7	0.6	1.5	0.3	2.5	0.1	0.4
04	1月	2.0	2.5	2.5	4.1	0.8	3.4	3.0	0.2	2.5	2.2	2.5
	2月	3.1	2.7	1.9	0.6	3.0	3.6	3.3	2.8	0.2	3.6	4.0
	3月	1.6	2.1	1.5	0.2	2.6	0.6	4.6	3.1	1.0	4.2	0.6
	4月	2.0	3.4	0.1	2.1	0.2	3.2	1.7	0.4	0.2	0.6	4.4
	5月	1.0	1.0	1.6	1.0	0.5	2.0	1.4	0.2	0.5	0.1	0.7
	6月	0.6	3.0	0.8	5.7	0.6	1.1	0.8	0.3	0.9	0.6	0.1
	7月	0.3	3.4	0.1	9.3	1.3	0.9	1.7	0.2	1.2	0.6	0.4
	8月	0.2	2.6	2.0	4.9	1.6	1.0	1.1	0.1	3.1	1.0	0.2
	9月	0.0	1.6	1.3	0.4	0.2	0.5	0.1	0.1	1.8	0.3	1.6
	10月	0.3	0.5	1.4	2.4	0.4	1.2	0.1	0.2	0.7	0.4	1.1
	11月	0.3	3.0	1.6	1.4	0.3	0.7	0.8	1.0	2.1	0.9	1.9
	12月	0.1	2.4	0.6	2.4	0.8	0.0	1.0	0.3	5.7	0.4	0.7
05	1月	2.4	3.1	3.6	3.1	0.6	4.6	2.9	0.3	0.1	1.9	1.9
	2月	1.2	1.5	2.3	1.1	1.1	2.7	1.0	0.3	0.8	2.0	0.7
	3月	1.0	1.9	0.3	1.8	0.3	2.9	0.2	1.1	1.3	0.9	0.8

(出所 経済産業省「第3次産業活動指数」)

## 反動もあって1-3月期では高い伸び

3月の第3次産業活動指数、全産業活動指数はともに2ヵ月連続の前月比低下となった。1-3月期でみれば揃って高い伸びとなり、QEでみられた1-3月期の高成長が再確認されたが、一方で4-6月期に関しては若干の不安を抱かせる内容である。

2005年3月の第3次産業活動指数は前月比 1.0%と市場予想(コンセンサス 0.4%、レンジ 1.2~+0.7%)を下回った。3月の指数の低下に寄与した業種は、卸小売業、情報通信業、サービス業、不動産業、学習支援業、運輸業等である。このうち、卸小売業は四半期決算の一般化に伴う季節調整の不具合が3月の数値を押し下げている可能性が指摘されているほか、情報通信業についても、3月は通信向け・官公庁向けの受注が一時的に落ち込んだという特殊要因によるところが大きい。こうしたことがコンセンサス下振れの主因であり、全体としてみれば趨勢的な悪化が懸念される項目はさほど多くないといえる。

この結果、1-3月期では前期比+1.4%と高い伸びとなった。昨年10-12月期の個人消費は、台風等の自然災害による外出機会減少や暖冬による季節商品の需要停滞が家計の消費支出を抑制した、台風による作物被害等により生鮮野菜の価格が上昇し、家計の購買力(実質所得)を抑制した、などの非経済的要因によ

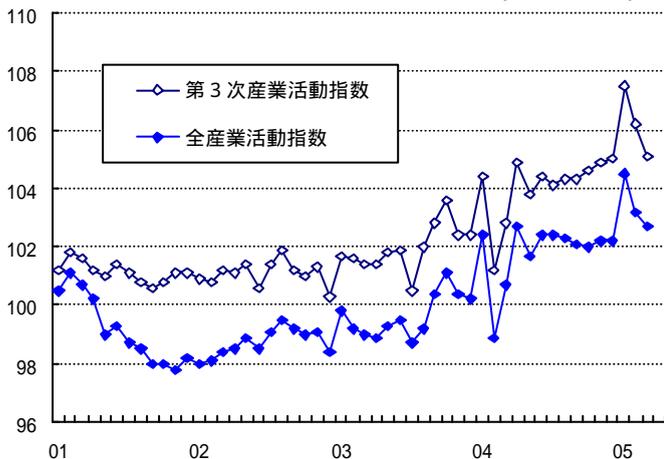
り押し下げられていたと考えられるが、年明け以降にはそうした要因が剥落した結果高い伸びとなったと考えられる。このように、1-3月期の第3次産業活動指数の大幅上昇には、個人消費の前期の落ち込みからの反動増による部分が多分にあり、実力以上に嵩上げされている面があることには注意したい。実態としてみれば、第3次産業活動指数は、緩やかな上昇傾向が続いているという評価が妥当だろう。

#### 4- 6月期は伸びが鈍化

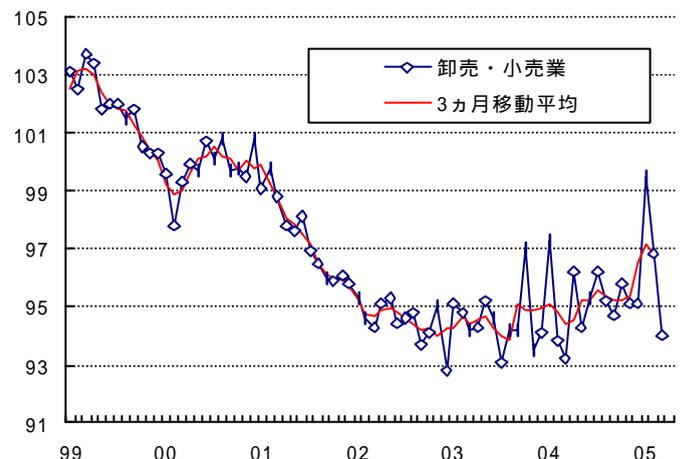
同時に公表された3月の全産業活動指数も前月比 0.5% (コンセンサス 0.4%、レンジ 0.9% ~ + 0.2%) と2ヵ月連続で低下した。第3次産業活動指数と同じく、1-3月期では前期比+1.4%とかなり高い伸びとなっている。全産業活動指数は供給側からみたGDPとも呼ばれることがあり、GDPと似た動きをすることが知られている。同指数の高い伸びは、1-3月期の日本経済が昨年後半の停滞の反動から高成長となったことを改めて確認する結果となった。

このように、1-3月期に関しては強めの結果となったわけだが、手放しでは喜べない面もある。前述の通り、前期からの反動で押し上げられている面が大きいことに加え、1月に前月比+2.3%となった後、足元2ヵ月連続で低下していることがやや気にかかる。この3月の低下によって、4-6月期へのゲタは0.7%となっており、4-6月期も高成長を続けることへのハードルは高くなった。百貨店販売額など4月の個人消費関連指標は総じて良好な結果であることや、4、5月の生産予測指数が高めであることなどから考えれば、このまま落ち込んでいくとは見込み難いため、基調的には緩やかな改善傾向が続くと思われるが、4-6月期に関しては、1-3月期から伸びは大きく鈍化する可能性が高いだろう。

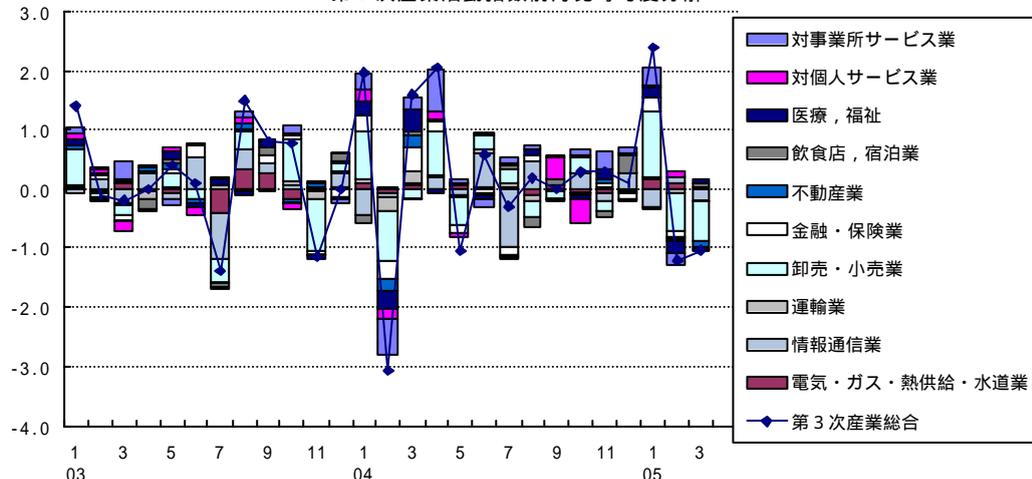
2000年 = 100 第3次産業活動指数と全産業活動指数 (季節調整値)



第3次産業活動指数 (季調値)



(%) 第3次産業活動指数前月比寄与度分解



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。